

# 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 提訴8周年年次活動報告会

2018年5月26日(土) 佐賀・アバンセ

## プログラム

- 開会挨拶 13:30 石丸初美 代表
- 1年の活動報告 永野浩二 事務局長
- 会計監査報告 塩山正孝 会計  
横井久 会計監査
- 役員紹介
- ★講演 14:10  
『地震・配管・火山～原発裁判勝利への展望』  
お話：冠木克彦 弁護団長
- 福島訪問報告（野中宏樹さん）
- リレートーク
- 閉会挨拶 荒川謙一 副代表



## “覚悟”のいる電気はいらない

本日は本会の提訴8周年年次報告会にお集まりいただきありがとうございます。私たちは全国のみなさまの支えで、今日まで裁判運動を続けてくることができました。心から深く感謝申し上げます。

当会は、2006年2月主婦たちが、玄海原発3号機プルサーマルを止めるために立ち上がった延長線上の裁判運動です。10年2月に会を発足させ、同8月9日MOX使用差止裁判提訴が始まりました。

ただ「暮らしを守るため」と自分たちにできることをやってきました。玄海原発を止めたくて、4つの裁判で8年半、プルサーマル運動から12年半が経ちました。私たちの裁判は九電と国を相手に、限られた情報の中で具体的に危険性を指摘して、司法の場で「安心できる暮らし」を取り戻そうと闘っています。

2011年3月11日は、第2回の公判の日でした。東京電力福島第一原発事故は、想像を遥かに超えるものでした。取り返しのつかない原発事故は、二度と繰り返してはなりません。震災と東京電力の事故により亡くなられた方、今もお苦難の日々を強いられている数万人とも言われる避難されている人々に、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日頃の広報活動として玄海町をはじめ各地をたずね、情報共有をしています。私たちの情報を知り、初めて聞く事実に驚く人たちに会い、伝えることの大切さを実感しています。原発再稼働に理解・納得していない住民がたくさんいることを見してきました。

私たちは「福島第一原発事故を学び、原発はやめてください」と、専門家からの根拠も提示して国や九州電力、玄海町長、佐賀県知事や佐賀県議会、ほか自治体などに対してこれまで幾度となく要請してきました。

しかし、昨年4月24日、佐賀県知事は「県議会決議を

極めて重く受け止める」「住民の理解と安全性の確認が得られたらやむを得ない」と、不安を抱えた住民の気持ちを見做して再稼働に同意しました。

今、玄海3・4号機再稼働の最中にあります。3号機は再稼働直後に2次系蒸気漏れ事故、4号機は1次系ポンプ不具合事故と次々と事故を起こしました。九電は、「未来からの警告」と真摯に受け止め、再稼働などやめるべきです。しかし、九電は住民への納得のいく説明もないまま3号機の発電を再開し、4号機の原因は未だ明らかされていません。7年半も止まっていた玄海3号機が営業運転に入り、住民は実験台になったのです。玄海原発で事故が起きれば、放射能は偏西風に乗って30kmで止まってくれません。

一企業のために、住民が“覚悟の暮らし”をなぜ送らねばならないのでしょうか。こんな理不尽なことがまかり通る原発を許してはなりません。田中前規制委員長は「審査はするが、原発は安全とは言わない」と聞き直り、事故大前提の発言を繰り返してきました。不条理極まりない原発政策です。

「全ての生き物と、未来の社会に核のゴミを押しつける原発」「犠牲ありきの原発」をまだ進めようとしている行為は犯罪です。その犯罪をやめさせるためには、私たちの行動が必要です。九州電力と国に対して「原発はもうやめてください」と、住民を守る立場の佐賀県知事と玄海町長には「原発に反対を」と、これまで以上に要請行動をしていきたいと思えます。

そして、勝利へ向けてこれからも裁判闘争と反原発運動を会一同、皆さんと共に頑張ります。

よろしくお祈りします。

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会  
代表 石丸初美

## 玄海原発を止めるため 4つの裁判で闘っています

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

### **(1)3号機MOX燃料使用差止裁判【被告:九州電力】→不当判決**

2010年8月9日 提訴<原告130名> ※3.11前で本裁判のみ原告は九州に限られていた  
2011年3月11日 第2回口頭弁論  
2013年11月13日、2014年1月24日、3月13日 弁論準備手続き(裁判官にプレゼンテーション)  
2014年7月18日 証人尋問(原告側=小山英之・裁判補佐人/被告側=九電社員)  
2015年3月20日 佐賀地裁 不当判決 ⇒控訴<控訴人98名>  
2016年6月27日 福岡高裁 不当判決

口頭弁論(地裁)14回、(高裁)3回、原告意見陳述4回

猛毒物質プルトニウムの入ったMOX燃料を通常のウラン用原子炉で燃やす危険なプルサーマル。住民の反対の声を無視して2009年12月2日、玄海原発3号機で運転開始されたことに対して、私達はやむにやまれず提訴。主な争点は2つ。

- ・ウランと燃え方の違うMOX燃料では“ギャップ再開”現象が起きて、メルトダウンに至る危険性があること
- ・使用済みMOX燃料の行き場が決まっていないのは法律違反であり無責任であること

佐賀地裁、福岡高裁ともに、九州電力の言い分をそのまま受け入れ訴えを棄却。核燃料サイクルという“国策”に追随した。引き続き、以下の裁判で闘っている。

### **(2)3・4号機再稼働差止仮処分【被告:九州電力】→不当決定→抗告審**

2011年7月7日 提訴<債権者90名>  
2016年10月26日 追加提訴 <146名追加→債権者合計17都府県から236名>  
2017年6月13日 不当決定 (審尋全24回)  
2018年6月8日 福岡高裁・抗告審第一回審尋

3.11からわずか3か月後の2011年6月頃、玄海2・3号機の再稼働が画策されたことに対し、7月7日に仮処分申請。その日、国の「ストレステスト」実施方針発表と、古川知事と九州電力の「やらせメール」発覚によって再稼働がいったん止まった。新規制基準の下で3・4号機再稼働が申請されたことを受け、2号機を取り下げ、2016年10月26日に4号機を追加提訴。

最大の争点は基準地震動の過小評価問題。さらに、配管損傷による重大事故に至る危険性も争う。火山巨大噴火問題も追加主張。

2017年4月24日の佐賀県知事「再稼働同意」後の6月13日、佐賀地裁は不当決定。

### **(3)全基運転差止裁判【被告:九州電力】**

2011年12月27日 提訴<原告178名>  
2015年10月30日 追加提訴<原告合計349名>  
審理継続中。これまでに口頭弁論25回、原告意見陳述14回

東京電力福島第一原発事故によるフクシマの甚大な犠牲を目の当たりにし、すべての原発を今、止めなければならないとの思いをあらたにした。「耐震性に関する安全性は証明されていないこと、経年劣化による配管損傷から重大事故の可能性があること及び重大事故対策の不備、そして、使用済核廃棄物処理の不能。おおよそ安全性は保証されておらず、再稼働はされてはならない」(訴状)として、九州へ避難してきた方、全国の仲間とともに提訴。

### **(4)3・4号機設置許可処分取消訴訟【被告:国、参加人:九電】**

2013年11月13日 提訴<原告382名>  
2017年7月 国が許可を出したことから、当初の「運転停止義務付」から「処分取消」へ訴えの趣旨変更  
審理継続中。これまでに口頭弁論17回、原告意見陳述7回

この国の政治は福島を見捨てるつもりなのか。国民の命を第一にしないのか。私達はこのことが許せず、原発政策の本丸である国を訴えた。

基準地震動が過小評価になっていること、重大事故に際して放射性物質の異常な水準の放出を防止するために必要な措置がとられていないことなどは、原子炉等規制法に基づく基準に適合していないことから、「許可処分」の取り消しを求めている。

(2018年5月25日作成)

# 2017年6月～2018年5月の活動記録

## 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

◆裁判期日など ●自治体要請・九電交渉・政府交渉

### 【2017年6月までの主なもの】

#### ■2006年

3月26日 古川佐賀県知事、プルサーマル事前了解  
10月3日～12月3日 「プルサーマル・大事なことは住民投票で決めよう佐賀県民の会」、県民投票条例制定請求署名活動。翌年2月佐賀県議会で否決

#### ■2009年

12月2日 プルサーマル営業運転開始

#### ■2010年

2月21日 「玄海原発プルサーマル裁判の会」発足  
8月9日 3号機MOX燃料差止提訴(原告130人)

#### ■2011年

3月11日 MOX第2回口頭弁論  
東日本大震災・福島原発事故発生。  
7月7日 2・3号機再稼働差止仮処分申立(90人)  
12月27日 玄海原発全基停止提訴(178人)

#### ■2013年

7月12日 九電、3・4号機再稼働申請  
11月13日 行政訴訟提訴(382人)

#### ■2014年

4月14日 佐賀市に避難計画質問要請(以後、避難計画の取り組み開始)  
7月18日 MOX裁判証人尋問  
9月19日 MOX裁判結審

#### ■2015年

3月20日 MOX不当判決  
4月3日 控訴申立て  
10月30日 全基差止裁判追加提訴

#### ■2016年

6月27日 福岡高裁MOX不当判決  
11月9日 国・規制委、審査書案了承

#### ■2017年

1月18日 規制委、玄海3・4号機審査書決定  
4月24日 佐賀県知事再稼働同意

### 【2017年6月以降】

#### ■6月

10 提訴7周年年次活動報告会&ダニー・ネフセタイさん講演会  
13 ◆**仮処分不当決定**  
15 脱原発佐賀ネットワーク  
16 ◆**行政第14回口頭弁論**  
17 憲法&原発カフェ(福岡・吉塚)  
23 ◆**仮処分抗告申立て**  
30 原発はいらない九州連絡会議にて報告  
弁護団会議

#### ■7月

1 そいぎミーティング

7 ◆**即時抗告理由書提出**  
東京緊急報告会にて報告  
国会議員会館まわり

11 弁護団会議

15 漁業者海上デモ連帯行動・鷹島ポステイング

18 九電交渉事前検討会

弁護団会議

20 脱原発佐賀ネットワーク会議

24 弁護団会議

26 ●**九州電力本店交渉要請・質問書提出**  
(火山灰・コンプライアンスカード)

28 ◆**全基第22回口頭弁論 意見陳述:松尾邦子**

#### ■8月

2 弁護団会議

3 アメリカ人大学院生を玄海へ案内

5 そいぎミーティング

7 ●**政府交渉:火山灰**

8 弁護団会議

10 ●**知事要請:火山灰 要請・質問書提出**

20 裁判ニュース第24号発行

22 弁護団会議

24 脱原発佐賀ネットワーク会議

25 避難訓練事前学習会・福岡

27 オール九州 再稼働許さない!集会

「東区から廃炉を考える会」総会にて報告

29 避難訓練事前学習会・唐津

30 弁護団会議

#### ■9月

3・4 避難訓練見学・監視行動、加唐島ポステイング

8 ◆**全基第23回口頭弁論 意見陳述:田口弘子**

9 そいぎミーティング

11 「使用前検査」抗議行動

九州電力佐賀支社面談

12 弁護団会議

13 伊万里市議会傍聴議

佐賀県議面談

15 ◆**行政第15回口頭弁論 意見陳述:伊福規**

20 佐賀県議会一般質問傍聴

21 唐津市議会原子力特別委員会傍聴

脱原発佐賀ネットワーク会議

弁護団会議

23 糸島市・一貴山校区ヨウ素剤事前配布説明会見学

26 弁護団会議

28 ●**唐津市・伊万里市要請:ヨウ素剤事前配布**

29 佐賀県議会原子力特別委員会傍聴

30 矯風会九州部会学習会にて報告

#### ■10月

1 玉山ともよさんお話し会

3 裁判書面学習会

- 4 唐津市鎮西町ポスティング
- 5 ●知事要請:ヨウ素剤事前配布 要請・質問書提出  
大学生からインタビュー
- 7 そいぎミーティング
- 12 弁護団会議
- 26 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 27 弁護団会議

■11月

- 4 そいぎミーティング
- 5 さようなら原発九州実行委員会拡大会議に参加
- 6 弁護団会議
- 7 裁判書面学習会
- 9 ●佐賀県副知事面会 要請・質問書提出
- 10 座談会・大村
- 13 弁護団会議
- 18 玄海原発反対からつ事務所1周年活動報告会
- 19 和白干潟まつりパネル出展
- 20 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 24 短大(福岡)にて授業
- 29 NUMO意見交換会・佐賀 参加
- 30 裁判学習会(小山さん囲んで)

■12月

- 1 ◆行政第16回口頭弁論 意見陳述:亀山ののこ  
◆全基第24回口頭弁論 意見陳述:野口春夫
- 2 “反プルサーマルの日”唐津ポスティング  
佐藤和良さん講演会  
玄海原発再稼働を許さない九州総決起集会・デモ
- 4 高校(福岡)にて授業
- 6 弁護団会議
- 7 佐賀県政記者室・記者レク  
佐賀県新エネルギー課と面談
- 10 「東区から廃炉を考える会」にて報告
- 12 裁判書面学習会
- 13 伊方原発仮処分決定・取材対応
- 15 裁判ニュース第25号発行
- 17 そいぎミーティング/望年会
- 20 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 26 ●火山・神鋼で知事要請 要請・質問書提出
- 29 国会議員面談

■2018年1月

- 9 ●火山・神鋼で九州電力要請 要請・質問書提出
- 13 そいぎミーティング
- 14 唐津市・安定ヨウ素剤配布説明会見学
- 16 裁判書面学習会
- 19 弁護団会議出席
- 20 大阪報告会(ノーニュークスアジアフォーラム主催)
- 22 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 24 ●政府交渉(火山・避難) 要請書提出
- 26 弁護団会議出席
- 31 肥前町ポスティング

■2月

- 8 ●更田委員長面談前首長要請(玄海町、唐津市)
- 9 ●首長要請(佐賀県知事、福岡県知事、糸島市長)  
各首長に要請書提出
- 10 そいぎミーティング

- 11 更田委員長現地視察抗議
- 16 ●燃料装填発電所前抗議・九電に抗議文提出
- 21 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 23 弁護団会議出席

■3月

- 1 ●九州電力本店交渉 要請・質問書提出
- 3 そいぎミーティング
- 5 佐賀県議会一般質問傍聴
- 6 ●佐賀県議会へ請願書提出
- 8~14 3.11パネル展
- 10 「3.11福島に連帯する佐賀県集会」にて報告
- 11 「さようなら原発ナガサキ集会」にて報告  
「大分県中津地区3.11脱原発集会」にて報告
- 12 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 19 ●安全神話リーフレット撤回問題で  
知事と九電佐賀支社へ要請・質問書提出  
佐賀県議会原子力特別委員会傍聴
- 23 ●3号機起動抗議・発電所前と九電本店前  
抗議文提出(拒否)  
佐賀県議会最終日請願採択傍聴
- ◆行政訴訟第17回・全基差止第25回口頭弁論  
意見陳述:北川浩一、江藤真実
- 27 ●九電本店へ再抗議 抗議文提出
- 31 蒸気漏れ事故抗議街頭宣伝

■4月

- 2 ●3号機蒸気漏れ事故 九電本店へ抗議文提出  
知事と玄海町長へ要請・質問書提出
- 6 ●九電再質問提出  
●知事へ専門家意見聴取要請文提出
- 7 そいぎミーティング
- 9 ●蒸気漏れ政府交渉 署名提出  
脱原発佐賀ネットワーク会議
- 12 ●蒸気漏れ九電交渉 署名提出
- 13 蒸気漏れ佐賀県専門家意見聴取会傍聴
- 19 ●発電再開:知事へ要請書提出
- 20 佐賀県による後藤政志さん意見聴取
- 21 4号機燃料装填抗議(発電所前)

■5月

- 5 裁判ニュース第26号発行
- 7 脱原発佐賀ネットワーク会議
- 8 座談会(劇団風の子九州)
- 9 ●4号機ポンプ事故・九電抗議 抗議・要請書提出
- 10 ●4号機ポンプ事故・知事へ要請・質問書提出
- 12 そいぎミーティング
- 16 弁護団会議出席
- 14 九電佐賀支社からポンプ事故説明
- 16 弁護団会議出席  
3号機営業運転開始抗議街頭宣伝
- 19 弁護団会議
- 24 弁護団会議
- 26 提訴8周年年次活動報告会  
冠木克彦弁護団長講演